

## 国際シンポジウム

### 「放射性廃棄物低減に向けた現状と将来の展望 ～ゼロリリースを目指して～」 プログラム

日時：平成 26 年 10 月 9 日（木）、10 日（金）

場所：タワーホール船堀（〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1）

プログラム：

#### 【1 日目】10 月 9 日（木）「原子力の利用と環境との調和」

司会（JAEA）佐賀山 豊

1. シンポジウム開催あいさつと来賓あいさつ（10） 10:00～10:10
  - 松浦 祥次郎 JAEA 理事長
  - 文部科学省
  
2. 基調講演（50） 10:10～11:00
  - 自ら整合性のある原子力システム ～資源確保と環境保全の同時達成～  
(NSF) 藤家 洋一
  
3. 核燃料サイクルの取り組みと放射性廃棄物の低減（100） 11:00～12:40
  - 核燃料サイクルに関する民間の取り組み (JNFL) 田中 治邦
  - 高速炉の役割と「もんじゅ」への取り組み (JAEA) 青砥 紀身
  - The French Program for a Sustainable Management of Nuclear Materials and Waste (フランス CEA) B Boullis
  - Fuel Cycle Based on Integral Fast Reactor and Pyro-processing (アメリカ ANL) Y Chang

(昼食) 12:40～13:40
  
4. 将来の高レベル放射性廃棄物のさらなる減容化・有害度低減（80） 13:40～15:00
  - 核変換による高レベル放射性廃棄物の大幅な低減・資源化 (JST) 藤田 玲子
  - SCNES による放射性廃棄物の低減 (JAPC) 小竹 庄司
  - 加速器による放射性廃棄物の低減 (JAEA) 大井川 宏之
  - MYRRHA (ベルギー-SCK・CEN) Marc Schyns
  
5. 原子力と地球環境（40） 15:00～15:40
  - Thermodynamics of the Biological Energy System (ドイツ) R.Radebold
  - 地球温暖化と原子力 – 2 つの廃棄物問題 –  
(エネルギーシンクタンク) 田下 正宣

(休憩) 15:40～16:00
  
6. パネル討論（100） 16:00～17:40
  - 原子力の利用と環境との調和に関する今後の展望  
モデレーター：(日本エネルギー経済研究所) 田中 伸男

【2日目】10月10日（金）「分離・回収と核変換技術の現状と将来」

司会（JAEA）佐賀山 豊

7. 研究開発の現状と展望（第一部）（100） 10:00～11:40
- 研究開発の現状と展望 ー元素分離ー (JAEA) 森田 泰治
  - レーザーによる同位体分離 (JAEA) 横山 啓一
  - 乾式再処理と金属燃料高速炉による分離・核変換技術 (電中研) 小山 正史
  - 高速炉を用いた核変換技術 (JAEA) 安部 智之
  - 加速器駆動システム（ADS）を用いた核変換技術 (JAEA) 辻本 和文
- (昼食) 11:40～13:00
8. 研究開発の現状と展望（第二部）（80） 13:00～14:20
- 金属燃料高速炉による放射性廃棄物の消滅処理 (東芝) 有江 和夫
  - 高レベル廃棄物の処分負荷低減に向けた諸量評価ツールの開発 (三菱重工) 森 行秀
  - 長寿命廃棄物核変換システムに対する日立の取り組み (日立) 日野 哲士
  - 京都大学原子炉実験所における加速器駆動システムの基礎研究の現状 (京大炉) 卞 哲浩
- (休憩) 14:20～14:40
9. パネル討論（120） 14:40～16:40
- 将来に向けた研究開発と国際協力  
モデレーター：（東京都市大）高木直行
10. 閉会挨拶（5） 16:40～16:45
- 吉田 信之 JAEA 理事